

Technical Data Sheet

2007/1/16

93-58905 Craftsbury8390/8391 ガラス交換キット

キットに含まれるもの			ご用意いただくもの
3030-047	ガラス	1枚	はさみ
3110-053	3/16インチ・ロープガスケット	120 cm	ドライバー
3120-021	ガラスクリップ用ガスケット	3枚	ワイヤーブラシ
4500-4600	ガラスクリップ用ネジ	3ヶ	作業用グローブ
5021-060	ガラスクリップ	3ヶ	潤滑スプレー(必要に応じて)

始める前に

- 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。
 - 割れたガラスの扱いには十分ご注意ください。
 - ガラスに表と裏はありませんので、どちらの面が表でも構いません。
 - ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。ガラスは熱で膨張しますので、きつく締めすぎるとヒビや破損の原因になります。
1. ドアを開け、そのまま上へ持ち上げてストーブ本体から外します。ヒンジピンとワッシャーは元に戻すときのためになくさないようにしてください。ドアの正面を下にして、作業しやすい場所に置きます。エナメルドアは、表面を傷つけないようやわらかい布などで保護してください。
 2. クリップを固定しているネジ(3箇所)を外します。(ネジが錆びついて外れにくい場合は、無理に外そうとせず、潤滑スプレーを塗布後しばらく置いてください)作業用グローブをはめ、割れたガラスを慎重に取り外し、廃棄してください。
 3. 古いガスケットを取り除いたら、溝の汚れやサビをワイヤーブラシで落とし、かたく絞った布で残った汚れをきれいに拭き取ってください。新しいガスケットはシール付なので、接着剤は不要です。ガスケットについている紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ、ガスケットを溝に押し込むように装着します。ガスケットは引っ張らず縮めず、一周したらガスケットが重ならないように、余分な分はカットしてください。
 4. 新しいガラスをセットし、クリップとネジで元通りに固定します。この時、ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。小さいガスケットは、ガラスとクリップの間のクッション材としてお使いください。
 5. ガラスを取り付けたらドアをストーブに戻します。この作業は一人がガラスドアを持ち、もう一人がワッシャーを挟みピンを入れるようにすると楽です。

鋳物のサビが原因でガラスが割れるケースがありました。錆びが盛り上がり、ガラスが圧迫されて破損の原因となったようです。ガラス交換の際には、鋳物のサビをきれいに落としてください。
また、スプレー式の液状ガラスクリーナーをお使いの場合は、吹き付けた液体がたれてドア下部にたまり、サビやガスケット硬化の原因となりますので、液だれしないようご注意ください。